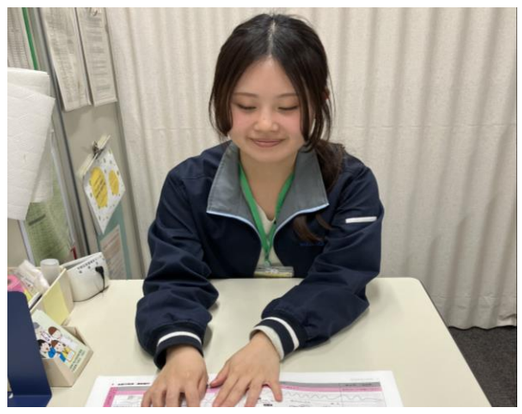
保健福祉センターのお仕事紹介

家庭訪問

家庭や施設等生活する場へ出向き、地域住民（母子・成人・高齢等）に対して、必要な支援を行います。

健康相談



本人や家族等から、生活習慣病や認知症・精神疾患など、健康に関する幅広い相談を受けています。

健康教育

対象者が抱える健康課題に応じたアプローチを行い、行動変容を促せるように取り組んでいます。

子育て教室

地域の中で安心して子育てができるように、教室を開催し、計測や育児相談を受けています。

百歳体操

吉本興業株式会社と「百歳体操DVD」を共同で作製しました！

高齢者の方がいきいきと元気に暮らせるように、地域住民と一緒に、介護予防に取り組んでいます。

乳幼児健診

3か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診を集団健診で実施しています。

区の独自事業

地域診断に基づいて地域の特性を把握し、区の健康課題に応じた事業を企画立案して展開しています。

関係機関との連携

関係機関と意見交換を行い、地域の課題を共有し、地域住民の健康のために一緒に活動しています。

健康危機管理対応

災害時の健康危機管理ができるよう、マニュアルを策定し、平時から災害対策に取り組んでいます。また新型コロナウイルス感染症などの感染症対応も行っています。

先輩からのメッセージ

岡田　七海
旭区保健福祉センター
（令和４年度採用）

区保健福祉センターでは、新生児や高齢者、難病の方の訪問といった個別支援、健康相談、乳幼児健診、教室の企画・運営などを行っています。地域の方々から「ありがとう」と言われたときは、”保健師で良かったな”と心から思います。

どう支援したら良いのかな？と悩むこともありますが、プリセプターや先輩、上司が親身に相談に乗ってくださるので、安心して働くことができます。

皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

１日のスケジュール（例）

9:00	始業（朝礼、メールチェック、準備等）
10:00	担当地区のいきいき百歳体操で健康教育 民生委員と意見交換
11:00	帰庁、乳幼児健診準備
12:15	昼休み
13:00	乳幼児健診従事
17:00	乳幼児健診事後作業（未来所電話等）
17:30	終業

森本　哲生　健康局保健所感染症対策課　（平成25年度採用）

感染症対策課結核グループに所属しており、関係機関とともに結核罹患率の低下に向けての対策を行っています。またデータ分析や学会発表も行っており、保健師としてのスキルアップができます。保健師は男性が少ないこともあり、不安なことがあるかもしれません。

私も入職当時は漠然とした不安がありました。でも気負わなくて大丈夫。みなさんの持っている力を十分に発揮できる職種ですので、一緒に働きませんか。困ったときはいつでも相談にのりますよ！

１日のスケジュール（例）

9:00	始業（メールチェック、各種事務作業）
10:00	結核対策への課内会議出席
12:15	昼休み
13:00	保健福祉センターからの相談対応
15:00	医療機関とのカンファレンスに出席 （結核入院患者の状況確認　等）
17:30	終業

平田　愛
港区保健福祉センター
（平成24年度採用）

現所属では、健康危機管理担当として災害時に配慮が必要な方の避難行動計画の作成や、健康教育など災害時に備えた地域活動をしています。地域住民に近く、生活に密接に関われる仕事は大変やりがいがあります。

私自身３人の子育てをしながら、仕事も楽しく充実した日々を過ごしています。子育て中の保健師も多く、職場全体がサポートし合う雰囲気で、子育て中でも安心して働ける職場です。子育ての制度も整っています。ぜひ一緒に働きませんか。

１日のスケジュール（例）

9:00	始業（メールチェック）
10:00	健康教室準備、講師と打ち合わせ
12:15	昼休み
13:00	健康相談対応
14:00	難病患者さん宅訪問 災害時の個別避難計画について話し合う
16:00	帰庁、記録作成
17:30	終業

小川　理乙子　此花区役所　保健副主幹

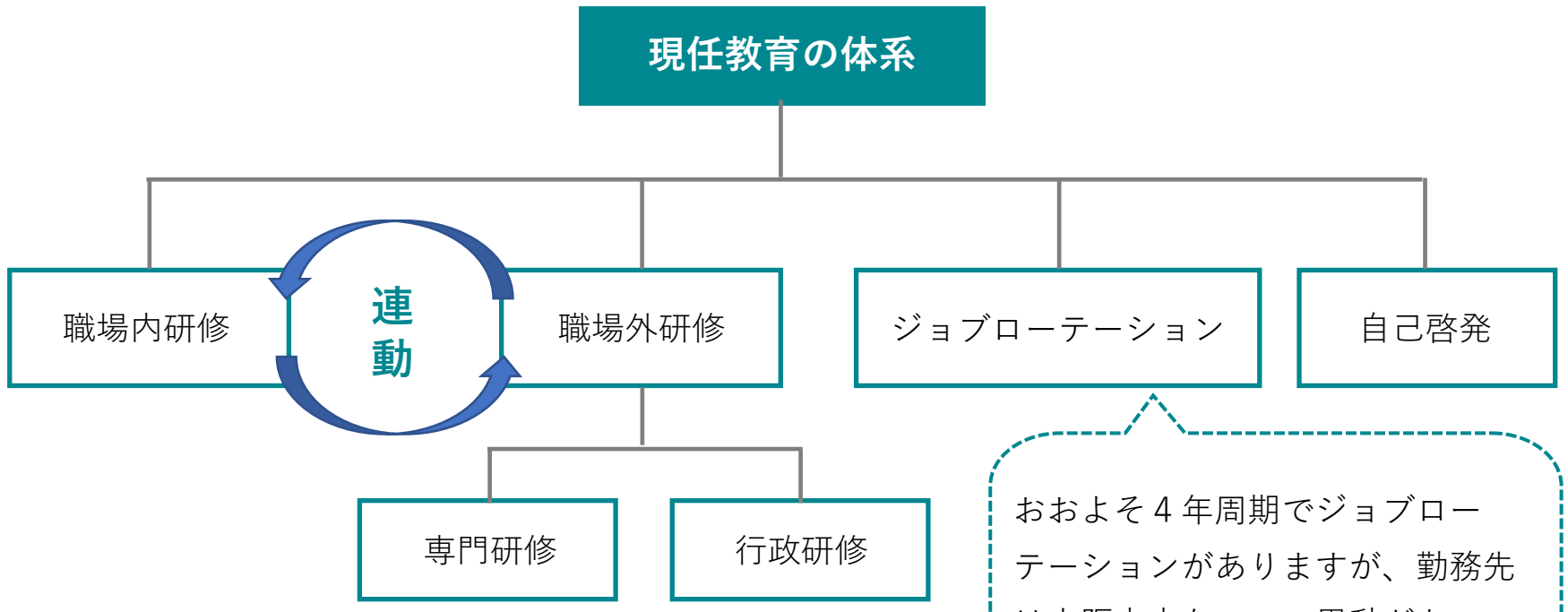
区の統括保健師として、保健師８名と地域活動を行っています。

チーム一丸となって、人と人、人とサービスをつなぎ、人や地域によりそい、共に歩むことで、健康課題解決に向け取り組んでいます。また、「笑顔が輝く健康なまちづくり」をめざして、保健師活動の見える化、事業化等も行っています。様々な活動で目まぐるしい毎日ですが、チームで課題を共有し、ともに悩み、お互いを助け合いながら課題を解決していけるような組織づくりに努めています。

先輩保健師からの学びはもちろん、ケースや地域の方、多職種の方から学ぶことも多くあり、焦らず一歩ずつ積極的に学びつづけることが大切です。いつでも相談しやすく居心地のよい安心できる職場づくりで、みなさんをサポートしていきます。

大阪市保健師の人材育成

大阪市では、大阪市保健師人材育成ガイドラインを作成し、体系的な人材育成を実施しています。
専門職としての保健師の人材育成は、職場内でのOJT（職場内研修）・Off-JT（職場外研修）・ジョブローテーション（人事異動・人事交流）によって行われます。
さらに、大阪市保健指導研究会を自主組織として運営し、勉強会や研究活動など自己啓発を図る仕組みがあります。



OJTを効果的に行うため、業務上の困りごとや悩みを上司や先輩保健師に気軽に相談できる職場環境を整え、より良い雰囲気づくりに努めています。

事例検討会

事例への対応について、情報を整理・意見交換を行い、悩みを共有し、対象者へのよりよい支援を考えています。
必要に応じて、精神保健福祉相談員や他職種（医師や心理士など）にアドバイザーとして参画を求めることもできます。

プリセプター体制

大阪市保健師は「プリセプター体制」を導入しています。
身近な先輩がプリセプター（指導者）として採用３年目までの新任期保健師とペアを組んでいます。
日常業務を通して、保健師の専門能力の育成だけでなく、行政能力の育成に向けた指導を行っています。

新任期保健師育成支援事業

新人保健師の知識と保健指導技術を高めるため、経験豊富な退職保健師が家庭訪問等の保健活動に同行し、やさしく丁寧な指導・助言を行っています。

統括保健師からのメッセージ

大阪市健康局
保健指導担当部長
松本　珠実（保健師）

大阪市は昭和3年に我が国で初めて「保健婦」という名称が使われた地であり、政令指定都市でありながら、長年高い水準の保健師教育を行ってきました。現在、大阪市の保健師は491名を定数としており、24区の区役所、大阪市保健所、大阪市こころの健康センター、児童相談所、大阪市役所内の各部局等で「大阪市民の笑顔が輝く健康なまちづくり」を目指して活動しています。

大阪市の保健師活動の魅力は、地区担当制を基盤として、あらゆる健康課題に対応し、地域特性に応じた事業の企画・立案などが行えることにあります。また、地域住民に寄り添い、地域住民とともに活動することでソーシャル・キャピタルを醸成し、地域ケアシステムを構築していくといった、保健師らしい仕事をすることができます。

また、2019年度に作成した「大阪市人材育成ガイドライン」に基づいた体系的な研修やOJTを行っており、自己研鑽の場として83年の歴史を持つ「大阪市保健指導研究会」を組織していることも強みとなっています。

保健師は、本当に楽しい、やりがいのある仕事です。志ある皆さまと共に、活動できることを心から楽しみにしております。

高層ビルが立ち並ぶ大都会の特徴と
下町の人情味が色濃く残る地域もあり、
外国、特にアジアの文化も共存する
国際都市大阪市で、あなたの力を輝かせてみませんか

【保健師採用試験に関する問い合わせ先】
大阪市健康局総務部総務課
〒530-8201　大阪市北区中之島1-3-20
電話番号　06-6208-9922